

京都ヴィラ ニュース

第79号 | 令和5年7月15日 発行:京都ヴィラ



開苑38周年記念
「カウンターテナー 村松稔之リサイタル」

カウンターテナー: 村松稔之さん(右)
ピアノ: 市川未来さん(左)

そうだ京都、行こう。

苑長 森本 博子

「そうだ 京都、行こう。」このキャッチコピーはほとんどの方が耳にしたり目にしたりしていらつしやると思います。平安遷都(794年)から1200年を目前にして1992年に始まったJR東海のキャンペーンです。東海道新幹線を使って首都圏から京都への観光客を誘致しようと企画されました。このキャンペーンが始まって今年で30周年を迎えることとなります。

CMやポスターで季節の移ろいを見事にとらえた京都の名所が紹介されました。京都で生まれ育った私でさえこんなに美しい所があるのかと、京都を再発見したものです。なじみのある神社やお寺でも違ったアングルでとらえたショットは見事で心が惹かれました。哲学の道の桜、夕闇の中の平安神宮のしだれ桜、仁和寺の御室桜、紅葉のシーズンの神護寺、源光庵の「悟りの窓」から燃えるような紅葉、鮮明に脳裏に浮かびます。最近、小学校時代の友人と話し

ているとそのキャッチコピーを作ったコピーライターは小学校の時の同級生だということです。その彼女と私は大の仲良しでした。一緒に英語塾に入ったとき高齢の上品なアメリカ人女性の先生は日本名では呼ばずにそれぞれニックネームをつけて呼んでいました。明るい笑顔の彼女はデージー、私はその時紺色のセーターを着ていたからでしょうか、バイオレットと名づけられました。5年生の時に彼女が転校したとき私は一緒に転校したいと泣いて母を困らせました。高校卒業後東京へ行ったと人づてに聞いていましたがその後の消息は知りませんでした。

今年、JR東海は新キャンペーンを展開、仏像や肖像彫刻を入り口に京都の魅力を伝えていくそうです。最初は空也上人が取り上げられ、東京駅では各都道府県をイメージした実寸大のご当地空也上人像を展示する「空也上人大集合展」が開催されたそうです。そうだ、会いに行こう！

旅ごころ

塩貝 朱千 (本名 美佐)

変る世に私はわたし初桜

「薔薇は憧れ」詩に捧げし薔薇かをる

バラジェラートよく売れる日よ鴉啼く

晩節の刻ゆるやかにしぐれ虹

爽籟や笙の音に似て二条離宮

黒書院に言霊溜る城もみぢ

黄金の枯葉を降らす群翔ちて

二億年の樹木の裔やあたたかし

柱時計ぼんと昭和へねこじやらし

マロニエの枯葉のほふ旅ごころ

つれづれの句

井上 幸代

こんぺきの空に白雲春のどか

ケシ山の春のにぎわい白と紅色

ちらほらと桜花まい散り音もなし

やよい月進学進級碓びの声

テキパキと我が道歩む新学期

体高連汗をぬぐいてグランドわかす

七変化その美しさめで明日もと楽しむ

春ゆくも外出できぬ淋しさよ

アルバムに思い出たどる夏の夜

初夏の風心地よく吹き樹々ゆらす

ヴィラの夏

瀧野 悦子

山笑ふ頼りにならぬ耳ふたつ

掘りたてのヴィラの筍ご飯かな

ひとまはり可愛いくなりぬ桜餅

相づちを打つ人ほしき春の暮

夏の夜のスマホ走らすラブレター

めだかの子5ミリの命まぶしめり

ねぎ刻む女一生刃もの持ち

一会てふ逢ふも別れも沙羅の花

絵手紙で届く夕張メロンかな

うっとり年取ってゆくヴィラの夏

千年のはは

有友 光子

はは離れできぬ千鳥よ慈悲の旅

正面の母は穆かに鶴を折り

月冴ゆる顔施の母に羽根休め

盃洗の水面に母を称えおり

もう一度振り返みれば母の瞳をして

その夜は母の匂いでいっぱい

千年のあなたの娘都に居る

自利利他の哲学続く五色紐

鼓動など雲散霧消見せぬもの

挫けずに無関心なるジュンベリー

三年前、私を残して逝った人



瀬戸 智恵子
(八十一歳)

私が生まれ育ったのは南座のすぐ近くの宮川町と花見小路の真ん中です。父は自宅の向いの病院で、薬剤の仕事をしていました。母はビリヤード場を経営しており、従業員選抜チームは京都代表としてビリヤード全国大会で二位になる実力でした。両親が結婚して六年目にやっと私が生まれたので、本当に嬉しかったそうです。

私は病弱で五歳まで生きられるか分からなかったそうで、お手伝いさんや看護師さん、子守りさんの三人も面倒を見てくれていました。六歳頃からだんだん体力がついてきて、踊る事が好きだったので、日舞・タップダンス・バレエと毎日のようにお稽古に行っていました。小学校は多びす神社の横（今はホテル建設中）でした。一年生から六年生まで組替えがなくていまだにみんなとても仲良しで、毎年クラス会をしています。三年に一度は修学旅行のやり直しと言って伊勢に行き、枕なげをすると当時を思い出します。中学高校時代は体操部に入って、マットや平均台の練習

をしていました。その時の体重は三十二kgでした。

短大時代に主人と出会い、グループで映画を見たりワインバーに行ったりして遊んでいました。主人は市原という古い田舎に育ち、一日も早く街に出て商売をしたいと考えており、私に「結婚して一緒に苦労してほしい」と毎日のように家に来ていました。父は「真面目な人やから」と応援してくれましたが、主人の実家では「そんな街の子は駄目だ。まだ姉も兄も結婚してないから」と大反対でした。

新婚生活は、主人の親戚の借家を借りて、家賃の代わりに私はすぐ近くにある親戚の下の宿の手伝いをしました。毎朝四時に起きて四十人分の学生の朝食作りを手伝っていました。一方、主人は、昼は知り合いの電気工事会社に勤め、夜は電気工事の免許取るために二年間学校に通いました。私は意地でもこの人を一人前にして見返そうと思って苦労しました。ある日「きんでん」という大きな会社の部長さんに見出されて「きんでん」の仕事をする事になりました。苦労の甲斐があつて、大学の工事をいくつも引き受ける事になり、従業員も一丸となつてくれました。やっと（株）瀬戸電設も業界でも名前が知られるようになり、主人が亡くなった後は息子と娘と従業員が頑張ってくれています。

結婚式は身内だけでしたので、銀婚式にあ

たる二十五年目には海外旅行に行こうと貯めていたお金で、祇園「ラポー」を借り切り、友人たち五十人ほどを立食パーティーに招待しました。外国人歌手やミュージシャンにも来てもらって、生の音楽を聴いたり踊ったり皆に喜んでもらえました。

バブルの頃、主人は仕事上の付き合いで毎日のように飲み会に顔を出していました。体調を悪くしたのもこの頃でした。入退院を繰り返したのち、元気になったので二人で神山に家を建て、のんびりと花や木を育て、クリスマスにはイルミネーションを楽しむ生活を送っていましたが、三年前に体調を崩して日赤に入院しました。七カ月間、毎日主人の顔を見に通いました。リハビリの病院に移ると誤嚥性肺炎になり帰らぬ人となりました。今でもまだ病院から帰ってくるような気がして、夜になると淋しくて泣いています。

私に本当に良くしてくれてどこへ行くのも一緒でした。今もきつとずっとそばで見守ってくれているように思っています。いつも感謝感謝です。今は京都ヴィラに入居して亡くなった主人も安心してくれていると思います。



5月14日

うたすみれ コンサート

女性コーラスグループ「うたすみれ」のコンサートを開催しました。豊かな声量と厚みのあるハーモニーに圧倒されました。



6月11日

「祇園ばやし」を 楽しもう!

祇園祭の本番を前に、南観音山囃子方会（太鼓・笛・^{かね}鉦）の皆様にお囃子を実演して頂きました。ご入居者に鉦をつけていただく「お囃子体験」も4年ぶりに行いました。



7月2日

カウンターテナー村松稔之リサイタル

開苑
38周年
記念

カウンターテナーとは成人男性が裏声を使って女性の音域を表現する歌手です。その美しく澄み渡る歌声、透き通るような心に染み入る歌声、それでいて力強さも感じる歌声。歌詞をととても大切に丁寧に歌っておられるのが伝わってきました。

曲のエピソードなどを交えながらのリサイタルは、優しく素敵な人柄も伝わってきて、ご入居者は時間を忘れて聴き入っておられました。

響き渡る歌声をそっと包み込むようなピアノの音色も印象的でした。

もっと聴きたい、又聴きたいという感想が聞かれました。



カウンターテナー
村松 稔之

◆プロフィール

京都市出身。
東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院を首席で修了。その後渡伊、ノヴァーラG.カンテッリ音楽院古楽声楽科で研鑽を積む。



ピアノ
市川 未来

◆プロフィール

豊中市出身。
京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。

開苑記念 特別メニュー

- ヴィシソワーズ
- 帆立貝のマリネサラダ
- 牛ひれ肉のポワレ
ラタトゥイユ添え
- パン
- デザート盛り合わせ



7月1日



京都ヴィラの各セクションからピックアップしてシリーズで紹介します!

介護サービス課 相談室

自らの人生を楽しみ、自立自助の生活を支える支援の相談窓口です。

相談室には、介護支援専門員（ケアマネジャー）と機能訓練指導員が常勤しています。ご入居者がヴィラでの日常生活をお過ごしいただくために必要な介護保険サービス援助に関して、わからないこと、不安なことなどがあれば、いつでもご相談ください。必要なサポートをしてまいります。

介護支援専門員は、介護保険の認定申請から生活上の困りごとなど、ご入居者のお話を傾聴し、解決すべき課題の把握を行い、ご入居者の心身状況に応じたケアプランを作成し、介護サービス実施までサポートしていきます。実施後のサポートも他職種と連携して行っています。

機能訓練指導員は、介護保険サービスご利用者一人ひとりの心身状態に合わせて機能訓練を行い、出来る限りご自身で身の回りのことが出来るように計画書を作成し、その計画書に沿った支援を行っています。

このようにヴィラでの生活全般にわたり、ご入居者を見守り続け、安心して安全に過ごせる生活の場となるように努めています。

まずは日常生活の中で困りごとが増えた、出来ていたことが少しずつ出来なくなってきたなど、不安を感じられたら、最初の一步を踏み出し相談室へお立ち寄りください。

私たちは、ご入居者のこれからの人生に寄り添い、楽しみのある人生を過ごしていただくための一助となるよう努めます。



鶴屋寿
桜餅



クリケット
三宝柑ゼリー

出町ふたば かしわ餅

これからも季節のお菓子などをご案内いたします。

「花びら餅」や三月の「桜餅」はお抹茶を点ててお召し上がりいただき、ご入居者からも好評を博しております。七月は、ほのかな竹の香りが涼を呼ぶ「竹水ようかん」を予定しております。

ご入居者のご要望により、お店までは買に行けない、少量では買にくい老舗のお菓子や人気のスイーツを取り寄せる「うまいもの取り寄せ便」を始めました。

うまいもの
取り寄せ便

ヴィラシネマ
2023年

2月19日 松竹新喜劇
藤山寛美「はなの六兵衛」

3月19日 タンタンの冒険/
ユニコーン号の秘密

4月16日 まんぞく まんぞく

5月21日 ばあばは、だいじょうぶ

6月25日 ねこ物件

謹んで御冥福を
お祈りいたします

四名の方が
お亡くなりになりました

新しくご入居されました

八名の方がご入居されました

お知らせ

〈令和五年一月〜六月〉

新入職員紹介
(令和5年1月〜6月)

◆介護サービス課 —
鬼玉陽子
栢田由喜子

◆食事サービス課 —
生田真径

よろしくお願ひ致します。

5月1日〜

地下鉄北山駅・北大路駅
改札口付近に電照大型看板
広告を掲出しました。

ヴィラ行事
〈令和五年一月〜六月〉

- 書初め 一月八日
- 消防避難訓練 三月二十二日
- 介護課お花見ドライブ 三月二十九日
- 行楽弁当 四月五日
- 筍掘り体験 四月二十三日
- 衣料品の訪問販売 四月二十九日

有料老人ホーム 京都ヴィラ

〈経営理念〉
高齢者が自らの人生を楽しみ完結される為の生活の場を提供します。

〈運営方針〉
“自立自助の生活”を中心に、家庭的な雰囲気の中で高齢者に適した住環境をつくります。

医：博愛会病院と富田病院との協力関係により健康管理をします。
食：バランスのとれた献立による食事を提供します。
住：自然環境を大切に、共用施設を充実し高齢者に適した住環境を考えます。



美しい自然に囲まれ、心に安らぎを。

京都ヴィラは、天然記念物「^{みどろがけ}深泥池」を眼下に四季折々の景観を楽しんで頂けるホームです。
JR 京都駅より公共交通機関利用で約 30 分の立地です。

京都市指定介護保険特定施設（一般型特定施設） (公社)全国有料老人ホーム協会会員
株式会社 愛仁苑
介護付有料老人ホーム **京都ヴィラ** TEL.075-712-2800

〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1番地

0120-308-265 <https://kyoto-villa.com>

- 利用権方式／入居時自立・要支援
- 介護にかかわる職員体制 2.5：1以上

